

# 若者の定着や地域の活力維持に関する取組の状況

問1 県では、『第3期ふるさと秋田元気創造プラン』\*に基づき、「時代の変化を捉え力強く未来を切り拓く秋田」を創り上げていくことを目指し、様々な取組を進めています。次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。ご自身の実感に近いものを選んでお答えください。  
また、お答えが「1」又は「2」の場合は、よろしければその理由や、県が取り組むべきだと思うことについて、お聞かせください。

\*「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」とは、平成30年度からの4年間に、県が取り組むべき政策等を取りまとめた県政運営の指針です。

項目	あなたの満足度 (1つ選び番号に○をしてください)					
	十分	お お 十分 むね	か つ う	やや 不 十分	や や 不 十分	わからない
1 若者にとって魅力的な働く場が確保されている。	5	4	3	2	1	N
2 高校生や大学生の県内就職が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
3 安心して子育てができる社会になっている。	5	4	3	2	1	N
4 女性や若者が職場や地域で生き生きと活躍できる社会になっている。	5	4	3	2	1	N
5 地域交通や買い物サービスの日常生活に必要な機能が維持され、安心して生き生きと生活できる地域社会になっている。	5	4	3	2	1	N

### 1 社会資源の抑制に向けた取組

雇用の場の創出、人材育成・確保

将来にわたり拡大が見込まれる成長分野(新空機・自動車・新エネルギー関連・医療福祉関連・情報関連)への県内企業の参入促進と競争力強化、県内企業の海外展開を支援

モノのインターネット化(IIoT)や人工知能(AI)等に代表される「第4次産業革命」の進展により広範な産業分野において求められるICT人材を確保・育成

女性の賃金や個人のキャリアアップ等を支援

◎雇用創出数(企業数増や成長産業の確保、農林水産業や観光産業による新規雇用創出)  
2,552人(H28) ⇒ 2,209人(H29)

### 2 若者の県内定着・帰郷と移住の促進による秋田への人の流れづくり

高校生や大学生が県内企業の魅力に触れる機会として、企業見学会・企業説明会等を開催

大学生と保護者の県内就職への意識醸成に向けた情報発信の強化のほか、若者のふるさと帰郷を呼びかける「あきた帰郷キャンペーン」を実施

移住相談や移住フェア等を通じて秋田暮らしの魅力発信

Aターン就職を支援するため、東京都や秋田市等でAターンフェアを開催

◎人口の社会減  
△4,100人(H27) ⇒ △4,410人(H29)

### 3 結婚や出産、子育ての希望をかなえる全国トップレベルのサポート

あきた結婚支援センターの運営支援を通じて結婚を希望する若男女をサポート

保育料助成の更なる拡充等、子育て世帯への経済的支援を充実

地域の実情やニーズに応じ子どもや子育て家庭への支援を行う取組に対して助成

◎婚姻件数  
3,510組(H28) ⇒ 3,311組(H29)

### 4 女性や若者の活躍推進とワーク・ライフ・バランスの実現

経済団体等と連携した普及啓発や企業表彰の実施等により、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの取組への気運を醸成

「あきた女性活躍・両立支援センター」を設置し、企業訪問やアドバイザーの派遣等により企業の取組を支援

◎女性の活躍に関する行動計画を策定した企業数  
64社(H28) ⇒ 30社(H29)

◎従業員の仕事と子育てに関する行動計画を策定した企業数  
262社(H28) ⇒ 287社(H29)

### 5 若者の県内定着・帰郷と移住の促進による秋田への人の流れづくり

県と市町村が協働し、人口減少等の進行により生ずる生活課題の解決に向けた住民主体の支え合いの仕組みづくりを推進

集落間交流や担い手育成、地域資源を活用した商品開発等により集落活動を支援

◎社会活動・地域活動に参加した人の割合  
42.0%(H28) ⇒ 46.6%(H29)